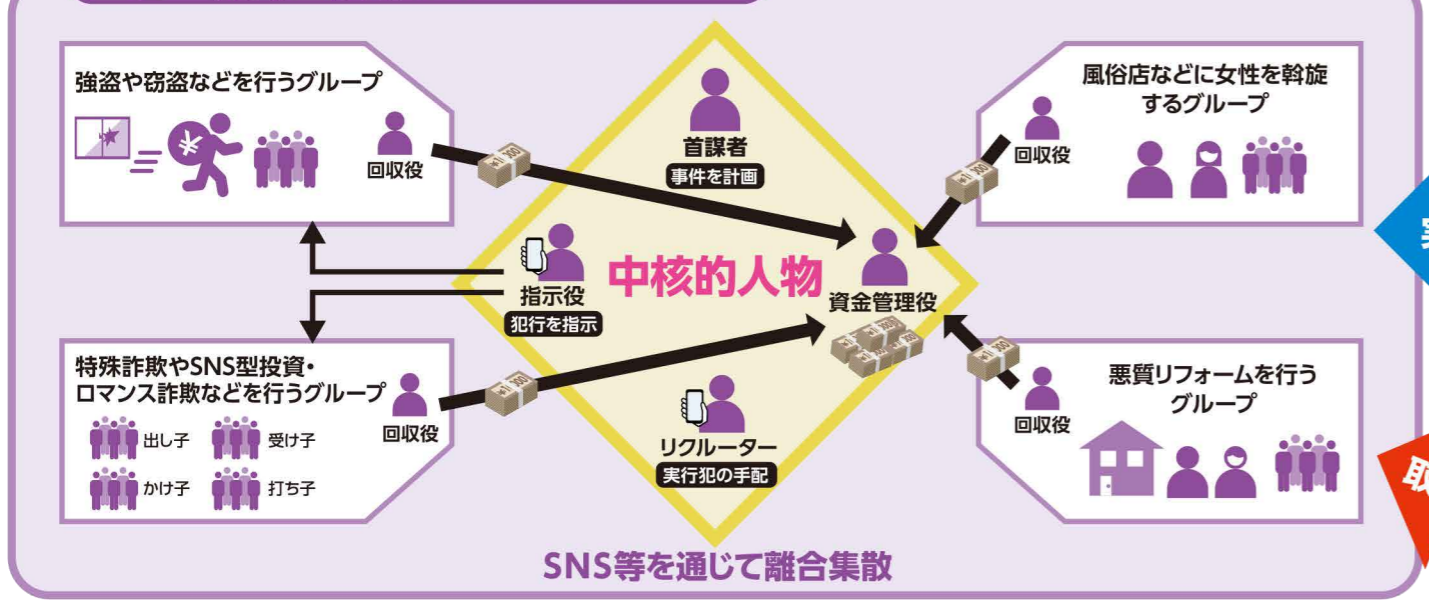


匿名・流動型犯罪グループ対策

匿名・流動型犯罪グループのイメージ



実態解明

取締り強化

匿名・流動型犯罪グループ対策強化のため 警視庁は、令和7年10月に組織改編を行いました。

「匿名・流動型犯罪グループ対策本部」を新設

- 特殊詐欺対策本部を改組し、匿名・流動型犯罪グループ関連情報を一元的に集約・分析、取締りターゲットの選定や各種対策を行う司令塔として「匿名・流動型犯罪グループ対策本部」を新設。
- グループに関係するものであれば、悪質ホストクラブやサイバー犯罪等についても情報を集約・分析し、違法なビジネスモデルを解体するための戦略を構築。

「刑事部」と「組織犯罪対策部」を統合し、新刑事部に「特別捜査課」を新設

- 既存の罪種や対象の属性等にとらわれることなく、犯罪の実態等に応じて一元的に捜査力を発揮していくため、刑事部と組織犯罪対策部を統合。
- 新刑事部には、特殊詐欺を中心に匿名・流動型犯罪グループが関与する事件捜査を幅広く担当する「特別捜査課」を新設。

匿名・流動型犯罪グループとは…

SNSや求人サイト等を利用して実行犯を募集する手口により特殊詐欺、強盗、窃盗等の犯罪を広域的に敢行するなどの集団。こうした集団は、SNSを通ずるなどした緩やかな結び付きで離合集散を繰り返すなど、そのつながりが流動的であり、また、匿名性の高い通信手段等を活用しながら役割を細分化したり、違法な資金獲得活動によって蓄えた資金を基に更なる違法活動や風俗営業等の事業活動に進出したりするなど、その活動実態を匿名化・秘匿化しています。

匿名・流動型犯罪グループ対策

令和7年10月、警視庁は、匿名・流動型犯罪グループ対策を強化するため、「匿名・流動型犯罪グループ対策本部」を新設しました。各部門から関連情報を一元的に集約・分析し、取締りターゲットの選定や戦略の立案、各部への調整などを行う匿名・流動型犯罪グループ対策の司令塔として、各種対策を推進していきます。

情報を収集・集約・分析した上で、地域ごとの実情を踏まえ、真に取り締まるべき犯罪グループを取締り対象に選定するとともに、繁華街・歓楽街対策も推進し、あらゆる法令を駆使した取締りを実施していきます。

「匿名・流動型犯罪グループ対策本部」は、「特殊詐欺対策本部」を改組する形で設置し、特殊詐欺対策も引き続き行います。特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺などの被害は、昨年都内で過去最悪の340億円に上りました。「特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京」を参考にして、被害防止と犯人の検挙にご協力をお願いします。



特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京



- インターネットに接続できる環境があれば、簡単に利用可能!
- eラーニングなので、会社、自宅、移動中など、どこでもOK!
- 親、祖父母の大切な老後資金を奪い取られない!

特殊詐欺の手口や対策について、詳しくはこちらをご覧ください。



特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京はこちらをご覧ください。



匿名・流動型犯罪グループによる事件の検挙

令和5年1月、東京都狛江市で発生した強盗殺人事件をはじめ、相次いで発生した匿名・流動型犯罪グループによる一連の事件は、体感治安を悪化させました。

警視庁は、匿名・流動型犯罪グループ対策を最重要の治安課題として、取締りを強化してきたところ、広域強盗事件については、合同捜査本部を設置し、令和7年6月11日時点で18事件中51名を検挙しました。



匿名・流動型犯罪グループ「アクセス」による事件を検挙

また、匿名・流動型犯罪グループによる事件として、「風俗スカウトグループによる事件」や「悪質リフォームグループによる事件」など様々な犯罪を検挙しました。

警視庁は、匿名・流動型犯罪グループの壊滅に向けて、変化し続ける治安情勢に的確に対処するための取組を、組織の総力を挙げて展開し、都民の安全・安心の確保に全力を尽くします。